

大阪市立昭和中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>・年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>【中間 100%】 【最終 100%】</p> <p>・年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 95%以上にする。</p> <p>【中間 97.5%】 【最終 97.0%】</p> <p>・年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>【R 元 16 人】 【中間 33 人】 【最終 28 人】</p> <p>・年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p>【R 元 2.0%】 【中間 3.2%】 【最終 3.7%】</p>	
<p>学校園の年度目標</p> <p>・年度末の校内調査において「先生は学級や学年の生徒を大切に思っている」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R 元 94.3%】 【中間 92.1%】 【最終 93.6%】</p> <p>・年度末の校内調査において「友達の気持ちを考え、友達を大切にしている」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R 元 96.8%】 【中間 97.5%】 【最終 99.0%】</p> <p>・年度末の校内調査において「学校では自分から進んでいさつをしている」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R 元 95.9%】 【中間 94.6%】 【最終 92.1%】</p> <p>・年度末の校内調査において「学校行事はみんなが楽しく行えるように工夫してある」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R 元 87.2%】 【中間 89.1%】 【最終 88.7%】</p> <p>・年度末の校内調査において「命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R 元 92.8%】 【中間 95.1%】 【最終 96.1%】</p> <p>・年度末の校内調査において「保護者や地域の人々といっしょになって学習や作業をすることがある」の項目において「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R 元 70.7%】 【中間 59.1%】 【最終 57.4%】</p>	B

- ・年度末の校内調査において「地震や災害などが起こった場合、どのような行動をとれば良いのかわかっている」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。

【R元 91.3%】 【中間 91.6%】 【最終 96.6%】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 「学校いじめ防止基本方針」に則り、すべての教職員に対して情報の共有を図り、いじめの早期発見・早期解決に努める。 指標 生徒アンケートを年間5回以上実施するとともに、いじめに関する情報交換の場を基本的に毎週設ける。 【アンケート5回、情報交換毎週実施】	B
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 災害発生時に自助・共助の中心となり、自らの命を守るとともに安全で安心な社会づくりに貢献する態度を育成する。 指標 地域関係諸機関と連携したものを含め、防災教育を年に3回以上実施する。 【880万人訓練、地域防災訓練、校長講話数回】	A
取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】 人間としての生き方を考えさせる道徳教育を、道徳教育推進教師を中心に、全教職員の共通理解のもとで推進する。 指標 道徳の授業で、「生き方を考えている」と回答する生徒を70%以上にする。 【中間 88.2%】 【最終 89.6%】	A
取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】 社会的自立に向け、子どもの勤労観・職業観を育てるため、子どもの発達段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育を推進する。 指標 全ての学年において、職業講話やものづくり体験学習、租税教室、面接セミナーなど、道徳授業を含めて年に複数回のキャリア教育を実施する。 【租税教室、職業講話、ものづくり体験、面接セミナー】	B
取組内容⑤【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校元気アップ地域本部事業と連携し、保護者・地域の協力を得ながら、生徒自ら潤いのある校内環境を整える作業を通して、情操豊かに成長させる。 指標 保護者・地域の指導により、耕作や園芸、飼育など美化・緑化活動を、年間、途切れることなく実施する。 【ジャガイモ・ゴーヤ収穫、花壇植え替え等】	B
取組内容⑥【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校のさまざまな取組や状況を、保護者・地域に対してリアルタイムに周知し、学校への	

理解・協力と参画を促す。

A

指標 学校ホームページのアクセス数を増加させ、1月末現在で3万件とする。

【9／15現在 27925件】 【1／15現在 44711件】

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

◎取組の進捗状況

- ① いじめ問題に関しては、未然防止と早期解決に向け「学校いじめ防止基本方針」に基づいて週1回主任級で、月1回全教職員で生徒に関する情報共有を行っている。
- ② 災害発生時には、自らの安全確保のため、「大阪府880万人訓練」や「地域防災訓練」等において、実践的な初期対応について学んだ。
- ③ 道徳の教科化に伴い、教科書を用いた読み物教材を予定通り実施した。
- ④ 社会的自立に向けた勤労観・職業観を育成することを目的に、1年生では「職業調べ」を実施した。図書やインターネットを活用して、各職種を深く掘り下げて調査した。2年生では2月に、プロの職人に来校いただき、「ものづくり」を体験した。3年生では自己の進路を切り拓くために、公立高等学校の4つの学科（工業・商業・総合・単位制）について高校の先生より説明を受けた。
- ⑤ 学校元気アップ地域コーディネーターの力を借りて、社会総がかりの教育を実践している。そのごく一部として校内緑化活動を実施し、ジャガイモやゴーヤを収穫した。
- ⑥ 読書週間の定着に向け、図書館のみならず学級文庫の充実を図っている。朝の帯活動においても読書を取り入れ、週3回実施できた日も多い。

次年度への改善点

いじめについては、大きなトラブルは起きていないが、被害を感じている事案は0件とはなっておらず、引き続き未然防止と早期解決に取り組む。

不登校については、増加する傾向にある。とりわけ校区外から登校する生徒の通学負担が課題となっており、保護者との連携を強化する必要がある。

暴力を複数回行ったことがあると回答する生徒が多い。怪我をさせるほどではないにしても、冗談半分の行動がいじめにつながることを指導しなければならない。

自分の将来への展望が持てない生徒が相当数おり、キャリア教育の充実を図る中で具体的な進路指導を行う。

地域の指導力はたいへん充実しているが、活動が多い分、ボランティアの確保が課題となっている。

大阪市立昭和中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】	
全市共通目標（小・中学校）	
<ul style="list-style-type: none"> 中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、<u>2年生において</u>前年度より向上させる。 <p>2年生【1年時3科119.7】 【今年度5科121.4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、<u>2年生において</u>前年度より1ポイント減少させる。 <p>2年生【1年時3科8.8】 【今年度5科12.7】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、<u>2年生において</u>前年度より1ポイント増加させる。 <p>2年生【1年時3科56.1】 【今年度5科56.0】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている」との項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 <p>【R元92.1%】 【中間91.1%】 【最終89.2%】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国体テの各種目（のべ16種目中）に関して、半数以上の種目で前年度のポイントを上回る。（全国体テが中止のため） <p>【R元全国平均以上8/16=50%】 【R2全国平均以上9/14=64%】</p>	B
学校園の年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> <u>今年度の全国学年において、平均点の対全国比を110%以上にする。</u> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査において「授業に集中できている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。 <p>【中間83.3%】 【最終88.2%】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査において「授業で学んだことを他の学習や普段の生活に活かしている」の項目において「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。 <p>【R元79.9%】 【中間76.4%】 【最終81.6%】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査において「授業以外に、週当たり30分以上読書をする」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。 <p>【R元58.1%】 【中間66.5%】 【最終70.3%】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査において「体育の授業や部活動、地域のクラブなどで日常的にスポーツを行っている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。 	

<p>【中間 83.7%】 【最終 79.3%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の校内体力テストにおける合計得点を男女ともに前年度大阪市平均レベルにする。 <p>【前年度市 41.0 点】 【今年度点（未測定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において「給食は、残さず食べるよう努力している」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。 <p>【R 元 88.5%】 【中間 90.0%】 【最終 92.6%】</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ICTを活用し、昨年度途中から実施している、タブレット端末の「持ち帰り学習」のさらなる充実、および宿題等の家庭学習習慣の定着を図る。</p> <p>指標 年度末の校内調査において「宿題を含め、家庭学習を積極的に行っている」と答える生徒の割合を70%以上にする。</p> <p>【中間 81.7%】 【最終 84.2%】</p>	進捗状況 A
<p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 放課後等に自主学習時間を設定し、地域コーディネーターおよびボランティアの支援を得て、生徒の学習機会を保障する。</p> <p>指標 定期テスト前に自主学習会を、土曜学習会も含めそれぞれ<u>3日以上</u>開催する。また夏季休業期間中に自主学習会を3日以上開催する。</p> <p>【中間 3日以上実施】 【最終 3日以上実施】</p>	B
<p>取組内容③【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】 国際化・情報化社会の中で、学校教育ICT活用研究拠点校としてその活用方法を研究し、授業を積極的に公開する。</p> <p>指標 ICTを活用した公開授業を、全教員が実施する。</p> <p>【中間 36.8%】 【最終 100%】</p>	B
<p>取組内容④【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】 国際社会において活躍できる人材の育成に向けて、英語授業力の向上に取り組むとともに地域・保護者と連携した「英語検定」受検を促進するなど英語学習へのモチベーションを高める工夫をする。</p> <p>指標 大阪市英語力調査において、平均点の対大阪市比を110%以上とする。</p> <p>【R2中止】</p>	
<p>取組内容⑤【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 さまざまな種目の運動に関する具体的な伸長方法を研究し、日常の体育授業の中に取り入れることで成果に結びつける。</p> <p>指標 全国体テの調査種目において、単なる測定にとどまらず、全ての種目を指導する。</p> <p>【技術指導を進めた】</p>	B
<p>取組内容⑥【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 望ましい生活習慣を身につけ、健康の保持や体力の向上を図る。</p>	

<p>指標 年度末の校内調査において「ほぼ毎日、朝食を食べている」と回答する生徒を 80% 以上にする。</p> <p>【中間 89.7%】 【最終 87.2%】</p>	A
<p>取組内容⑦ 【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】</p> <p>校内授業力向上研修とともに、全対象教員による研究授業を実施し、指導力の向上に取り組む。</p>	C
<p>指標 年度末の校内調査において「授業はわかりやすく楽しい」と答える生徒の割合を前年度以上にする。</p> <p>【R 元 82.7%】 【中間 74.3%】 【最終 72.9%】</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>◎取組の進捗状況</p> <p>① ボランティアに指導していただく定期テスト前自主学習会については、これまで各々 4 日間実施できている。</p> <p>② 主体的学習を行う場として、放課後の図書館開放を週 2 回実施できている。</p> <p>③ 学校教育 I C T 活用拠点校として、全教員がこれを活用した授業公開を 1 回は実施した。</p> <p>④ 生徒自身が I C T を活用して主体的に発表する場を多く経験することにより、思考力・判断力・表現力を高めることができている。</p> <p>⑤ 情報化社会において力強く生きるためのプログラミング教育を、技術科の指導計画に位置付けて実施することができている。</p> <p>⑥ 成長期にある生徒が、食に関する正しい知識と行動を身に着けられるよう食育を推進し、10 月の校内調査において、「給食は、残さず食べるよう努力している」と回答した割合は 92.6% 【目標 前年度 (88.5%) 以上】</p> <p>⑦ 基礎体力の向上をめざし、体育の授業においてさまざまな種目の技術指導を進めている。</p> <p>⑧ 教員研修に関して、研究授業を予定通り行うとともに、メンターを中心に若手教員研修を 1 学期に実施することができた。</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

<p>体力向上に関して、規模は縮小しつつも秋の体育大会では盛り上がりを見せ、運動に対する興味・関心が高い状態であることは感じられる。部活動については、週 5 日制の実施に伴い活動時間は減っているが、その分活動内容の精選に努め、スポーツに対する関心・意欲を削ぐことがないようしている。</p> <p>学習指導では、公開授業をすべての教員に課し、その授業力向上に努めるとともに、グループ学習の導入、ICT 活用などを積極的に取り入れ、単に生徒の知識の量を増やすだけでなく、常に「主体的・対話的で深い学び」を意識しながら、思考力・判断力・表現力を育てることを念頭に置いた指導を進める。また、新学習指導要領の完全実施に向け、指導と評価の一体化に関する研究を継続して進めていく。</p>
--